

11/04・米、制裁猶予「180日間」 イラン原油禁輸の適用除外

11/05・習氏「15年で輸入40兆ドル」 中国輸入博開幕、世界から3600社参加 < 1 >
米にらみ購買力誇示 景気減速、目標は小粒
・中国企業の伸び鈍化 7~9月増益率7%どまり
・「デジタル貿易」さえない日本 パソコン・半導体の輸出6位に転落

11/06・米、イラン制裁を全面復活 基軸通貨の圧力、世界に履行迫る < 2 >
制裁の適用範囲や運用方針は不透明 ドル離れの副作用も
・ユーロ圏財務相会合 伊に予算案修正要求 欧州委、制裁辞さず

11/08・米中間選挙 下院・民主、上院・共和 ねじれ、政権に足かせ < 3 >
大統領は「大成功」 NY株1カ月ぶり高値 545ドル高、中間選挙終え安心感
・トランプ氏、米司法長官を更迭 ロシア疑惑の追及に備え
民主には硬軟両様 「対日貿易は不公平」 米朝会談は「来年早々にも」

11/09・ドル、33年ぶり高値 名目実効レート 「米1強」マネー集中 < 4 >
・中国、対米輸出13%増 10月、伸び率鈍化も底堅く
・ユーロ圏経済に暗雲 欧州委、来年1.9%成長に下方修正 < 5 >
中国経済減速や伊財政が重荷
・FRB、来月利上げ示唆 FOMC (米連邦公開市場委) 「経済、力強い水準」
成長率3%、物価上昇率2% 声明文「さらなる利上げが正当化される」

11/10・米「中国との冷戦望まず」 ポンペオ国務長官、外交・安保対話で
中国「覇権を求める意図はない」 南シナ海、台湾、人権問題では対立が鮮明に
・上場企業業績、下期減益の公算 中国減速が重荷
・中国新車販売、前年割れも 18年見通し 株安などで高額消費低調 < 6 >
・韓国経済政策、迷走一段と 分配重視、軌道に乗らず
最低賃金大幅引き上げで「雇い止め」が続出、消費にも影響
・英メイ政権、また抗議の辞任 外相が再度の国民投票訴え
・不法入国の難民申請拒否 米大統領署名 移民集団阻止狙う
・NY株反落 中国経済減速で NY原油続落、一時60ドル割れ

11/11・貿易戦争、アルミ市場に異変 米、追加関税で品薄 アジアで需給緩和
・貿易戦争下景気リスクでも 日銀緩和、打つ手乏しく 重い副作用
・「衰える工場」品質不正招く 設備・人材へ投資が後回し
日本の製造業の設備投資は海外向けが国内を大幅に上回る

<1>

習近平氏は市場開放策を訴えた

- 15年間でモノ30兆ドル・サービス10兆ドルを輸入
- 関税をさらに下げ、税関手続きを簡素化、国境またぐ電子商取引を拡大
- 医療・教育で外資の出資制限緩和
- 中EUの投資協定、日中韓FTAの交渉加速
- 知的財産権の審査効率化、知財侵害には懲罰的な罰金
- 上海証券取引所にハイテク・ベンチャー企業の専用市場を創設

<2>

米政府による対イラン制裁は2段階で発動された

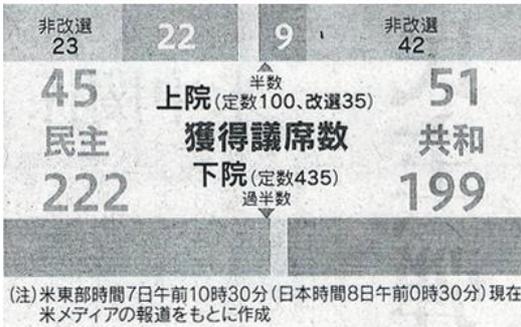
第1弾（8月7日発動）

- イラン政府による米ドル紙幣の購入・取得
- 自動車部門との取引
- アルミ・鉄鋼の原料、半製品の取引

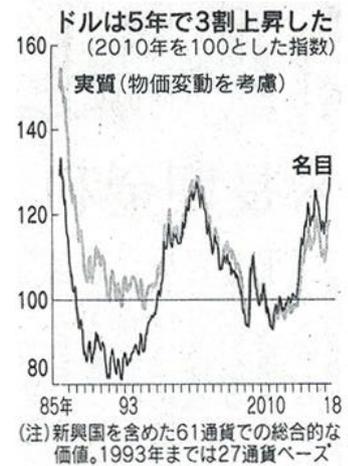
第2弾（11月5日発動）

- 原油、石油製品の取引
- 中央銀行やその他の金融機関との取引
- 海運や造船など港湾関係者との取引
- 保険および再保険業務

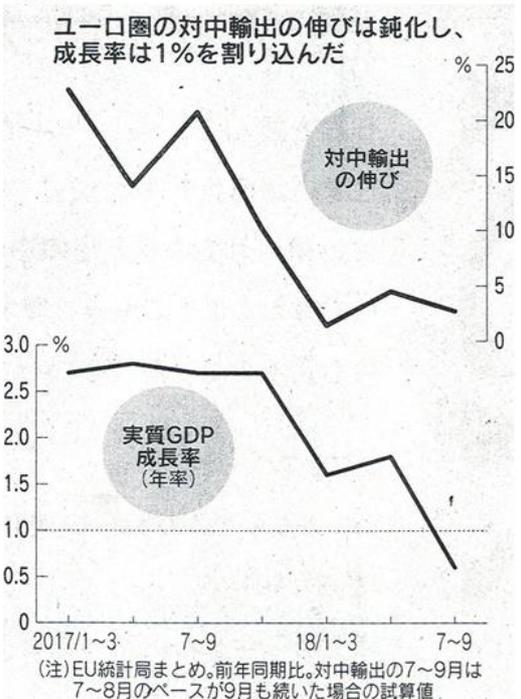
<3>



<4>



<5>



<6>

